

笠間ファン倶楽部通信

2008 春号

VOL.014



http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

表紙の写真/唯信寺のシラザクラ(右)、陶炎祭に来場した子供たち、笠間芸術の森公園の「陶の杜」、鳳台院のジャクナゲ(左上から順に)

笠間再発見！ 笠間芸術の森公園～陶の杜&あそびの杜

笠間昔話 メイド・イン・笠間で行こう！
笠間焼のルーツを探る 観光酒蔵「笹目宗兵衛商店」

春のイベント情報 笠間の花暦 観光客が選ぶおすすめショップ FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか

親友と栗が結ぶ縁 文・関悦子(株式会社ア・ラ・小布施 企画部長)



私にとっての笠間市は「笠間稲荷神社」と「焼き物」で有名なまち。この程度の認識でしたが、大の親友がたまたま笠間市に嫁いだことに端を発して、興味を覚えるようになりました。

何年前でしたが、彼女の知人が私の住んでいる信州の小さな町「小布施」を訪れてくださったのを機に、様々な情報が入ってきました。その情報のおかげで昨年11月に、「春風萬里荘」で行われた「魯山人茶会」に友人と共に参加をすることができたのです。

秋晴れの良い天候に恵まれ、春風萬里荘には和服姿の人達も多く、とても華やいだ空間が漂っていました。日当たりがよく、行き届いた手入れ、由緒ある建物にも大変興味を抱き、そこに身を置くことに感激をいたしました。訪れた多くの方々も同じ思いでこの雰囲気を楽しんでいるように見られました。

その後、「笠間芸術の森公園」に車を走らせ、車窓から見る焼き物のまち、多くの興味深い店が立ち並んでいました。公園には子ども連れが多く、ショップの中はとても活気がありました。

笠間のまちは、小布施とは違ってスケールが大きく、見事な建物を見て、うらやましい限りと感じました。年間を通して様々な企画

を次から次へと展開していることに驚かばかりです。

私の住んでいる小布施町は「栗と北斎と花の町」として、「食」「文化」「景観」を大切に、価値を高める活動をしなが「小布施ブランド」を築き上げる努力をしまりました。

何といても世界の巨匠「葛飾北斎」が江戸後期に何度か訪れて来た町なのです。小布施の豪商、豪農の高井鴻山が北斎のパトロンになって、北斎に多くの肉筆画や祭り屋台の天井画を残してもらったのです。昭和51年に肉筆画だけを集めた「北斎館」をきっかけに、町は変化をしまりました。

また、小布施といえ「栗」。茨城県も「栗」の生産量では屈指の県、栗菓子にも、茨城産の栗が多く原料として使われています。笠間の栗も、きっと使われていることでしょう。笠間の栗と小布施の栗が一緒に混じって「栗かの子」「栗羊羹」になっています。

これからも、笠間の皆さんとの交流を通して、互いに刺激しあい、学び、遊び、楽しむ事が出来るようになったら最高！

今回は友人等を連れて親友の住む笠間に遊びにいけます！

KASAMA NEWS * 4月から“かさま観光周遊バス”が有料になります *



平成13年11月より運行を始め「赤バス」の愛称で親しまれている「かさま周遊無料バス」は、市内の各種団体で組織された「笠間市内観光周遊バス運行協議会」が運営していますが、このほど維持管理費の軽減を考慮し、4月から有料化することとしました。今後は、従来と同じ赤色を基調とした新型バスを導入し、観光客や市民の皆さんが利用しやすいようバス停を増設するほか、発着所をJR友部駅の北口に設け、観光施設間の回遊と友部駅とのアクセスを容易にして、さらに笠間の魅力を発信していきます。

問合せ先：社団法人 笠間観光協会 0296-72-9222 利用料：1回乗車につき100円
(未就学児及び身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳をお持ちの方は無料)
運行日：月曜日を除く毎日運行(月曜日が祝日の場合は翌日運休)

笠間ファン倶楽部 * 陶炎祭裏情報 *

今年の「笠間の陶炎祭」は、特に会場駐車場の混雑が予想されています。公共交通機関を上手に使うなど、イライラせずにお祭りをもっと上手に楽しむ裏技を紹介！

- 裏技その1 かさま観光周遊バス(1回乗車につき100円)を使う
市内の観光施設ぐるっと周遊。新登場のバスが話題です！
- 裏技その2 無料シャトルバスを使う
電車の人「友部駅北口」から、マイカーの人「笠間ショッピングセンター」に車を止めて、会場まで一直線！
- 裏技その3 有料シャトルバス(160円)を使う
笠間駅利用者向け。稲荷神社やつつじまつり会場へもアクセス。
- 裏技その4 レンタサイクル(有料)を使う
笠間駅からスタート。春の風を感じながらサイクリング。
- 裏技その5 ウォーキングで行っちゃう(メタボ解消に)
今年新登場の春限定ウォーキングマップを活用しよう！

笠間ファン倶楽部 * 会員募集中 *

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多い笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感ぜられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

- 会員特典/レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数！
- 申込み/住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先/笠間市 産業経済部 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130
E-mail kasamafan@city.kasama.lbaraki.jp

笠間 アクセスマップ



笠間市基本データ 人口：80,604人(2008年2月現在)
面積：240.25km² 駅の数：6駅 高速道路ICの数：4箇所

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

箱田焼、お庭焼、仕法窯…
笠間焼のルーツを探る

写真のいとうけいこさんが、久野陶園の十四代目の当主。彼女は現在、この懐かしい場所を残していこうと、様々な取り組みを行っています。



久野陶園では江戸時代に造られた登り窯が奇跡的に残っています。笠間焼発祥に係わる登り窯として、平成14年に笠間市の文化財に指定。見学可能です。 問/0296-72-6502 (久野陶園)

当時の笠間焼はこんな雰囲気でした。あくまでも日常品として使われていたようです。ちなみにこの笠間焼は、編集スタッフの家でほこりをかぶっていたもの。撮影用にひっぱりだしました(笑)



江戸時代の安政年間、信楽焼の陶工と出会って…

笠間焼の起源は、今から約230年前まで遡ります。いろいろ起源の説はありますが、笠間市発行の「笠間市史」によると、江戸時代安永年間(1772~1780年)に笠間藩箱田村(現在の笠間市箱田)の名主・久野半右衛門と、信楽の陶工・長右衛門が出会い、陶器製造を始めたという説が有力です。ちょうど箱田村が、凶作で苦しんでいた頃、信楽の陶工・長右衛門と出会った半右衛門は、信楽焼の話聞いて興味を持ちました。笠間は陶器づくりに適した粘土が豊富で、周辺の山林から薪も手に入るということから、長右衛門に築窯を頼んで陶器製造を始めたのです(現在の久野陶園)。

その後、寛政年間(1789~1800年)に、焼き物に理解の深かった藩主・牧野貞喜は、佐白山ろくの粘土を利用。笠間城内に窯を築かせ「お庭焼」と呼ばれる陶器づくりを始めるなど、藩内の人にも融資をして、窯元を育成したのです。

牧野貞直の時代には、製陶業者の保護・育成に尽力し、6

つの窯元を技術とその仕法を後世に伝える「仕法窯」に指定。藩の特産品として、生産性を高めていったのです。

明治に入ると、美濃出身の田中友三郎が、東京に近いということで、笠間焼を販売。自らもすり鉢や製茶用壺を中心に生産し、横浜など各地で販売。笠間焼の名前は全国的に知られるようになりました。また、水戸線の開通なども販路拡大の追い風になったようです。

昭和に入ると大量生産、大量消費、そしてプラスチック製品の爆発的な普及で、手作りの笠間焼は売れなくなり、危機的状況に陥った時代もありました。そのような中、地場産業の笠間焼の振興をはかるべく、昭和25年に茨城県窯業指導所が完成。また、陶芸団地、芸術の村、窯業団地などの整備を、官民あげて推し進めてきました。時代的にも手作りの良さが見直されるようになり、また全国各地から陶芸を志す若者が笠間に集まり、現在に至っています。

春のイベント情報

春の笠間は陶炎祭(ひまつり)につつま祭りなど、ビッグイベント盛りだくさん!

第4回 クールジュヴェール
国際音楽アカデミー in かさま

3/21(金)~3/30(日)
今年で第4回目をむかえる本格的な音楽アカデミーです。詳しくは5ページへ。
問/笠間市教育委員会 生涯学習課
tel 0296-77-1101 www.city.kasama.lg.jp/musicalp

あたご山 桜まつり

4/1(火)~4/13(日)
※イベントは4月5日(土)・6日(日)10:00~
愛宕山には、約2,000本の桜があり、4月上旬から染井吉野・山桜が開花し、4月下旬頃のポタンザクラまで楽しむことができます。
場/愛宕山大駐車場
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama



第7回 北山公園 桜まつり

4/5(土)~4/12(日)
※イベントは4月5日(土)・6日(日)10:00~
桜まつりの期間中は、沿道と公園内に約1500個の提灯を飾ります。夜になると桜がライトアップされ、桜並木の沿道や新池周辺は幻想的な風景を演出しています。また、様々なイベントや花火大会も開催されます。
場/北山公園
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

洗心館のカタクリ祭り

4/5(土) 9:30~16:00 (受付9:00~)
4/6(日) 9:30~15:00 (受付9:00~)
カタクリ群生地への案内をはじめ、ウォークラリー、キーホルダー作成など、楽しい催し物がいっぱい。
場/茨城県立吾国山洗心館 ※雨天決行
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

笠間工芸の丘

久保田新一・内川嘉子作品展 4/2(水)~4/20(日)
中山 正作陶展 4/2(水)~4/20(日)
新進作家陶芸展 4/24(木)~6/1(日)
笠間茶陶研究会新作品展 6/4(水)~6/15(日)
畑田・大野新作品展 6/11(水)~6/29(日)
新井倫彦陶展 6/18(水)~6/29(日)
問/tel 0296-70-1313
www.kasama-craft hills.co.jp

笠間稲荷神社

例大祭 4/9(水) 11:00~
八重の藤、大藤 例年、5月上旬に満開を迎え境内は藤の香りでいっぱいになり、たくさんのお客様で賑わいます。

御田植祭 5/10(土) 10:00~
場/笠間稲荷神社神輿田(笠間図書館前)
車の茅の輪くぐり 6/29(日) 10:00~
場/公営稲荷駐車場
夏越しの大祓式(茅の輪くぐり) 6/30(月)
場/笠間稲荷神社境内
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.jp

茨城県陶芸美術館

人間国宝 荒川豊蔵
~偶然か、宿命か - 志野にロマンを追いかけて~
4/19(土)~6/22(日)
9:30~17:00(受付は16:30まで)
休/月曜(4/28日)・5/5(開館)・5/7(休館)
料/一般700円、大生500円、中小生250円
問/tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

第37回 笠間つつじまつり

4/19(土)~5/11(日) 8:00~18:00
7ヘクタールの園内には、霧島・久留米・やまつじ・大柴など、25品種8,500株が山一面に咲きほこります。また、会期中はイベントも開催されます。
料/大人(高校生以上) 500円
場/笠間つつじ公園
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

脱・飲酒運転 JR水戸線で行く酒蔵の新酒祭
「ちよっ蔵 新酒を祝う会」

~おかげさまで今年も酒ができました~
4/27(日) 10:00~21:00
ライブや寄席、きき酒選手権など盛りだくさんの内容で、存分に新酒を味わうことができます。
料/2,000円(記念ボトルと笠間焼ぐい呑み付)
場/磯蔵酒造(JR水戸線稲田駅近く)
問/磯蔵酒造 tel 0296-74-2002
www.isokura.jp/home.html

第27回 笠間の陶炎祭(ひまつり)

4/29(火・祝)~5/5(月・祝) 9:00~17:00
約200軒の笠間焼の窯元・陶芸家による手づくりの個性豊かな店が並びます。伝統的工芸品や個性的な作品を展示販売。また土面オークション等のイベントも開催され、多くの人で賑わいます。
場/笠間芸術の森公園イベント広場
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp



匠工房・笠間フェア

4/29(火・祝)~5/5(月・祝) 9:00~16:30
クイズラリーや伝統工芸士の実演、ロク口体験などが行われ、楽しく笠間焼に親しむことができます。
入館・体験・見学・休憩すべて無料です。
問/匠工房・笠間 tel 0296-72-0316
www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou/index.htm

常陸国 出雲大社

葉神祭 4/29(火・祝) 11:00~
春季大祭(お土取り神事) 5/18(日) 11:00~
夏越大祓祭 6/29(日) 14:00~
問/tel 0296-74-3000
www.izumotaisha.or.jp

笠間骨董我楽多市(かさまこつうからくたいち)

5/2(金)~5/5(月・祝) 9:00~17:00
県内外から約40軒の骨董店が軒を連ね、古陶磁器・古美術品・刀剣類・古布・古銭など様々なお宝が所狭しと並べられ、骨董マニアから一般の方まで楽しむことができます。
場/笠間稲荷神社前目酒造裏駐車場
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

大地の宴 かさま春市

5/3(土・祝)・5/4(日・祝)
笠間の農産物や観光物産品の販売や笠間の文化・歴史に関する展示のほか、アマチュアバンドの演奏など、イベント盛りだくさんです!
場/大町公園通り駐車場
問/大地の宴プロジェクト実行委員会(石井) tel 0296-72-0284

笠間日動美術館

「没後80年 佐伯祐三展~鮮烈なる生涯~」
5/6(火・祝)まで 9:30~17:00(受付は16:30まで)
休/月曜(祝日の場合は翌日)
料/大人1,000円、大生700円、中小生500円、65歳以上800円
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

いちご祭り

5月中旬まで 9:30~15:30 (受付は15:00まで)
問/笠間観光いちご園(笠間みんぱい)
tel 0296-72-9280 期間中無休
問/南指原観光いちご園(笠間クラインガルテン)
tel 0296-70-3133 (直売所)
休/月曜(祝日の場合は翌日)
www.city.kasama.lg.jp/garten/tchigo/index.htm

笠間ハンドメイドフェア in 弁天町

第6回 道の市(みちのいち)
6/7(土)・6/8(日) 10:00~17:00
ものを作り続けている本物の作り手、隠れ名人、自称名人などが集まる展示即売会です。
同時開催:「辻茶屋」「路面喫茶」「稲荷町アートフェスティバル」など1日ゆっくり笠間のまちを歩いて楽しめます。
場/弁天町駅前通り
問/道の市 笠間ハンドメイド in 弁天町 実行委員会事務局 tel 0296-72-0119
(さくらガス株式会社内 担当:藤枝)
www.michino1.jp/michinoichi/mtop.html

西茨城100km徒歩の旅ボランティア募集

8/6(水)~8/10(日)に、小学4~6年生が4泊5日で100km歩き、子ども達の「生きる力」を育む事業のボランティアを募集します。募集締切は5/10(土)。
問/笠間青年会議所西茨城100km徒歩の旅実行委員会(岡村 tel 070-5517-0398)

笠間再発見!

VOL.014



ひまつり
笠間の陶炎祭などのビッグイベントの会場として知られ、茨城県陶芸美術館や笠間工芸の丘を隣接した笠間芸術の森公園。今回は園内の「陶の杜」と「あそびの杜」の魅力を紹介します!



「ふわふわドーム」で元気いっぱい遊ぶ子供たち。みんな楽しそうですね!

自然を活かした子供のための広場「あそびの杜」

休日「あそびの杜」へ行くと、子供たちの歓声が聞こえてきます。まず目を引くのは杜の地形を活かした「ロングローラーすべり台」。総延長160メートルと長く、緑の中を駆け抜けるようなスリルいっぱいのすべり台です。専用マットの無料貸し出しがあるので便利。滑り終わったらマット箱へ返すルールがありますが、子供たちもき

ちんと守っています(いい運動になります!)。特に人気があるのは「ふわふわドーム」。トランポリンのような遊具で、雲の上にいるみたいふわふわ弾みます。子供たちは何時間もピョンピョンとんだり跳ねたり…青空の下、気持ちが良さそうです。ほかにもロープ渡りやネットクライミングなど、楽しい遊具施設がいろいろありますよ!



あそびの杜 & 陶の杜



笠間芸術の森公園



上の作品は「発掘された古文書/九鬼香織・作」。陶の棚や地面(り)に置かれた古文書がいろいろあります。左側の作品は順に「ローズマリーの爪/小野里友起・作」「森の道標とベンチ/金子真琴・作」「土の記憶より/高見沢美穂・作」。そして左下の作品は「音を奏でる陶楽器/寺本守、森田栄一、小野洋・作」。小枝などで叩くと、良い音がします。

土の魔術師たちが作り出した自然の中のアート作品「陶の杜」

陶に限らず作品というものは、置かれるロケーションによって大きく印象が変わってきます。公園内の「陶の杜」には、陶の作家たちによる多くのユニークな作品が、自然いっぱいの杜の中に置かれています。作品と自然の絶妙なコラボレーションが魅力ですが、普段は敷居が高そうなアートな作品を、至近距離で見られることもうれし

いポイントです。作品によっては自由に触れられるところか、叩いて音を出して遊べるものもあります。陶作品の魅力の1つは、その手触りにあります。土のぬくもりを自分の手で、ぜひ感じてみてください。散歩コースとしておすすめの、笠間芸術の森公園内の「陶の杜」。アートが身近な存在になる喜びを、ぜひ体験してください。



KASAMA NEWS *笠間の春は色々な花が咲き誇ります*

	3月	4月	5月	6月
ミズバショウ		■		
サクラ		■		
ツツジ			■	
フジ			■	
シャクナゲ			■	
ショウブ				■

笠間の花暦

- ツツジ (4月中旬~5月中旬)
笠間つつじ公園 (25品種、8,500株)
北山公園 (ヤマツツジなど)
- フジ (5月上旬) 笠間稲荷神社
(樹齢400年、大藤・八重の藤)
- シャクナゲ (5月上旬~下旬)
鳳台院 (17,000本)
- アヤメ・ショウブなど
(5月中旬~7月中旬) 北山公園

●ミズバショウ (3月中旬~4月中旬)
北山公園 (尾瀬・黒羽1,145株)

●サクラ (4月上旬~下旬)
北山公園・公園内道路 (桜のトンネル)
北山公園近くの唯信寺、光明寺など
(シダレザクラ)
愛宕山 (山桜など2,000本)
笠間小わきR355 (桜並木)
下市毛八坂神社 (シダレザクラ)
佐白山麓公園、笠間市役所笠間支所

史上最長! そばいなり寿司巻大成功



桃宴開催中の2月、笠間では「笠間初年いなり寿司まつり」が開催されました。笠間稲荷神社参道で長〜い! そばいなり寿司巻きにみんなで挑戦しました。記録はなんと50.3メートルでした!!

笠間ファン倶楽部 *活動報告*

桃宴めぐりツアー、作家さんの工房へ



ファン倶楽部事業「桃宴めぐりツアー」陶磁づくりでは、器づくりとはまた違う楽しさに夢中。午後は少人数ツアーの醍醐味、普段の観光ではゼッタイ見ることのできない作家さんのすてきな工房におじゃましましたよ!

KASAMA NEWS *クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま/3月21日(金)~30日(日)*

第4回を迎えるクールシュヴェール国際音楽アカデミーが今年も開催されます。フランス有数のリゾート地・クールシュヴェールで、毎夏開催されている「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」は、ヨーロッパ有数のアカデミー。世界の主要音楽大学の60人以上の教授と、プロの音楽家を目指す600人以上の受講生が参加します。そのカリキュラムに従った世界最高峰のレッスンが、ここ笠間でも開催されます。

レッスンは一般公開され、迫力あるレッスンの様子を間近で見学することができます。また、アカデミー講師でもある、世界トップクラスの音楽家によるコンサートも開催されます。さらに期間中は「音楽講習会」や「音楽セミナー」、音楽愛好家による「街角コンサート」も開催されるので、どっぴりと音楽を楽しみましょう!



開催期間/3月21日(金)~3月30日(日)
レッスン会場/茨城県教育研修センター (笠間市平町1410)
問合せ/笠間市教育委員会 生涯学習課 tel 0296-77-1101

世界トップクラスの音楽家による公開レッスン。普段はなかなか見ることが出来ない、貴重なレッスン光景です。

笠間市内の各所では、街角コンサートも開催されます。様々なジャンルがあるので、お好きなコンサートへどうぞ!



Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!

【その12】 笹目宗兵衛商店

銘柄・二波山 松緑、地酒は地元で愛されてこそ

今回は、笠間稲荷神社の真正面にある、観光酒蔵「笹目宗兵衛商店」を紹介します。元々は笠間藩主・牧野家の醸造元でしたが、明治6年に藩主より「二波山 松の緑の 色たけくよろすよかけてなお 榮ゆらん」の歌と共に、経営を譲られ、「二波山 松緑」の銘柄を賜りました(二波山は筑波山と加波山の意味)。この銘柄は現在も、笠間稲荷神社の御神酒として使われ続けています。平成14年、歌舞伎俳優の四代目・尾上松緑(おのえしょうろく) 襲名披露の折には、歌舞伎座前に樽を飾り、記念の振舞酒として皆さんに振舞われました。

六代目当主の笹目信次郎さんは話します。「地酒というのは、地元の人に愛されてこそです。地産地消の精神で、地元の原料にこだわり、あくまでも地元で根付いた酒造りを心掛けていきたいです」この記事を書いている2月現在は、仕込みの真最中でした。この通信が出る頃には、今年の新酒がお店に並んでいるでしょう。

それに伴い、もう10年続けられているヴァイオリニストの天満敦子さんを招いての蔵開きコンサートが、4月19日に行われます。天満という銘柄も作られました。笹目宗兵衛商店は、門前通りの真ん中にあるということもあり、いろいろなイベントに参加しています。通年で何かは行われていますので、お楽しみ下さい。

店はずっと奥まで続いていて、造り酒屋独特の世界に浸れます。古民家の母屋は、「茶寮・蔵人」という甘味処として営業されています。ほかに、もともと笹目家の私物蔵だった建物は、「蔵・宗兵衛」としてギャラリーになっています。見処、くつろぎ処が充実していますので、ゆっくり堪能して頂きたいです。お土産には、酒粕と秘蔵の味付けで漬けた「笠間いなり漬」がおすすめです。

古き良き時代の空気を肌で感じられる所です。ぜひ一度足を運び、のんびりとした時間を過ごしてみたいかたがたでしょうか。



SHOP DATA
 笹目宗兵衛商店
 住/笠間市笠間1339
 問/0296-72-0021 www.matsumidori.com
 営/年中無休 9:00~17:00
 茶寮・蔵人
 営/土・日・月・火 11:00~16:30
 問/0296-72-0021
 蔵・宗兵衛
 営/火・水・木・土・日 10:30~16:30
 問/0296-71-0102



FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! ファン! ファン! カサマ ※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。



間
 ファンファンインタビュー
 ふるさと案内人/ 成田英光(なりたひでみつ)さん
 昭和24年9月、旧岩間町生まれの58歳。県内の金融機関に勤務。趣味はお菓子(付太鼓、鉦、きつねの踊り)。現在、妻、息子二人、母の五人暮らし。

笠間をもっと楽しんで、それを伝えていけたらいいですね

●ふるさと案内人になって1年になりますが、笠間の観光イベントの多さに驚いております。千葉や東京、埼玉など、遠方からのお客様が多いですね。

●せっかく笠間に来てくれたお客様に、いい思い出を作って帰ってほしい。お友達や家族を連れて、また来ていただきたいので、お客様とふれあい、おもてなしの心を大切にしています。

●案内人として、笠間をもっと知ることで、観光ガイドには載っていない観光スポットや笠間の魅力を案内できたらと思っています。その意味でも、案内人の会の月例会は、自分の知らない笠間の再発見に役立っております。

●笠間のおすすめスポットのひとつは「白山頂」です。笠間市が一望でき、殿様気分になります。ふたつめは、4月中

旬「山桜が咲き始める芽吹き頃の愛宕山」です。さながら「常陸国の吉野山」の雰囲気を感じております。

●残念なのは、笠間に来たらこれ! という名物、お土産がないこと。笠間焼とは別に「笠間に行ってきました」と言っている所や職場に買って帰るようなものが欲しい。

●笠間市内は駅からレンタサイクルで巡るには丁度いい街です。

●私たち案内人が、笠間をもっと知り、笠間をもっと楽しんで、それを伝えていけたら、もっと良いおもてなしができるのかな、と思っております。



人
 ファンファンインタビュー
 かさま観光大使
 小田倉 雪絵(おだくらゆきえ)さん
 住まい: ひたちなか市 年齢: 31歳

Q1. 笠間でのデートプランを教えてください!
 A. 日動美術館で気に入りの絵を鑑賞して、芸術の森周辺でお買い物。それから笠間稲荷神社に参拝して…季節のフルーツ狩りもいいですね。

Q2. 笠間の一番の自慢は?
 A. 五感で楽しめる所です。四季折々の自然、陶芸体験の土の感触、栗などの

特産品の味覚など、訪れる度に感性が豊かになります。

Q3. こうなればいい!と思う所は?
 A. 陶炎祭の時など、駐車場へ入るまでに時間がかかってしまうので、わかりやすい案内の充実と、駐車場の改善があれば、更に良くなると思います。

Q4. 観光大使としての抱負
 A. 自分の目で確かめて、最新の情報を皆様にお伝えしていきたいです。笠間のナビゲーターとして精一杯つとめさせていただきます。



人
 ファンファンインタビュー
 かさま観光大使
 内桶おおる(うちおけおおる)さん
 住まい: 笠間市 年齢: 23歳

Q1. 笠間でのデートプランを教えてください!
 A. お弁当を持って、北山公園を散歩したいです。夜は愛宕山からの夜景を、ゆっくり楽しみたいです。

Q2. 笠間の一番の自慢は?
 A. 自然が豊かな所です。

Q3. こうなればいい!と思う所は?
 A. 幅広い年代の方々にも楽しめるようなイベントを増やし、誰でも気軽に参加出来るようになればと思います。

Q4. 観光大使としての抱負

声 ファンファンボイス

~会員の皆様の声、いただきました~

- 笠間焼のおおらかで大胆なところのある作風が好きで、陶炎祭・匠のまつりに出かけては買い占めています。あの広い場所にすずりと並ぶテントは圧巻です。笠間焼頑張り! (千葉・女性)
- 笠間焼、芸術の森公園、春秋のイベント、陶芸美術館等かなり頻繁に行っています。観光資源は県内でも有数だと思います。笠間市の皆様、是非大きな自信・自負を持って積極的に笠間をPRして下さい。(茨城・男性)
- 仕事でR50号を使っています。笠間焼や岩間の栗など、笠間市には色々面白いものがあり、ちよくちよく寄り道しています。いろんな寄り道スポットを教えてください。(茨城・男性)
- 笠間の山のある風景の中にいると、とても落ち着く気がします。私が育った土地に似ているからなのかなあと、ちよくちよく思いました。これからも、がんばって下さい。(群馬・女性)

KASAMA NEWS *こくぶん祭の開催迫る!*



常世の国 筑波嶺 翔ける 文化のいぶき
常世の国こくぶん祭
 ※第23回国民文化祭・いばらき2008
 平成20年11月1日(土)~9日(日)

国民文化祭・いばらき2008が、平成20年11月1日(土)から9日(日)まで、県内各地で開催されます。笠間市では、「笠間・炎の祭典」と「ストーン文化フェスティバル」という題名で、笠間芸術の森公園を中心に下記のようなプログラムを開催します。この機会に笠間の文化を堪能して下さい!

「笠間・炎の祭典」
 匠のまつり 時/平成20年10月31日(金)~11月3日(月・祝) 場/笠間芸術の森公園
 酒と食と器展 時/平成20年11月1日(土)~11月3日(月・祝) 場/笠間芸術の森公園
 花と器と炎展 時/平成20年11月1日(土)~11月9日(日)
 場/笠間工業の丘、茨城県工業技術センター産業指導所
 国民文化祭関連特別企画展
 時/平成20年11月1日(土)~11月9日(日)
 場/笠間日動美術館、春風萬里荘、稲荷美術館、茨城県陶芸美術館

「ストーン文化フェスティバル」
 いばらきストーンフェスティバル 時/平成20年10月31日(金)~11月3日(月・祝)
 場/笠間芸術の森公園・採石場
 いなだストーンエキシビジョン 時/平成20年10月31日(金)~11月9日(日)
 場/中野組石材工業(株)石切場

観光客が選ぶおすすめショップ

福 ゆとりと寛ぎの都市型ホテル



常磐自動車道友部スマートICから5分。全室無線LANが無料です。今年2月には全館カーペットを張り替えてリフレッシュ。禁煙ルームの設定あり。なんとと言っても、お部屋が広くてゆったりと寛げます。1日の元気の源、朝食は4種類(630円~800円)からチョイス出来ます。笠間の春の観光にぜひ利用したいホテルです。お部屋はシングル(全139室)1室6,300円。ツイン(全11室)1室10,500円。チェックイン: PM4:00。チェックアウト: AM10:00。駐車場完備: 無料。ウェブ上からの予約OK。

シティーホテル友部
 住/笠間市旭町303-3
 問/0296-78-0101
 ファクス/0296-78-0111 休/年中無休
 www.green-group.jp/city-hotel-tomobe/

豆 好評! 農産物&ソフトクリーム



眺望抜群の愛宕山にある、農産物直売と、コーヒー&ソフトクリームのお店です。農産物は地元会員の皆さんが、安全・安心なミネラル野菜を生産し、採れたて野菜を販売しています。また、ハイキングでほっと一息したい方は隣の愛宕家で、コーヒー(150円)、ソフトクリーム(250円)がおすすめ。特に地元の農産物を使用したソフトクリームは好評。店内では笠間産のまゆ玉人形なども販売しています。

愛宕山フォレストハウス・愛宕家
 住/笠間市泉99-15
 問/0299-45-7840
 営/10:00~15:00

陶 板谷波山の作品が充実、特別展も



美術品全般を取り扱う、陶芸作品中心のギャラリーです。巨匠と呼ばれる陶芸家の作品が豊富で、板谷波山の作品をはじめ、浜田庄司、加守田章二など多くの作品が揃えられています。また、若手の陶芸家の作品も紹介しており、定期的に特別展を開催しています。3月28日~4月6日は、浜田庄司の赤絵を中心とした民芸展を開催予定です。

ギャラリー曜輝・金澤美術
 住/笠間市笠間2372-5(芸術の森公園下)
 問/0296-71-7566
 営/10:00~18:00
 休/火曜日

